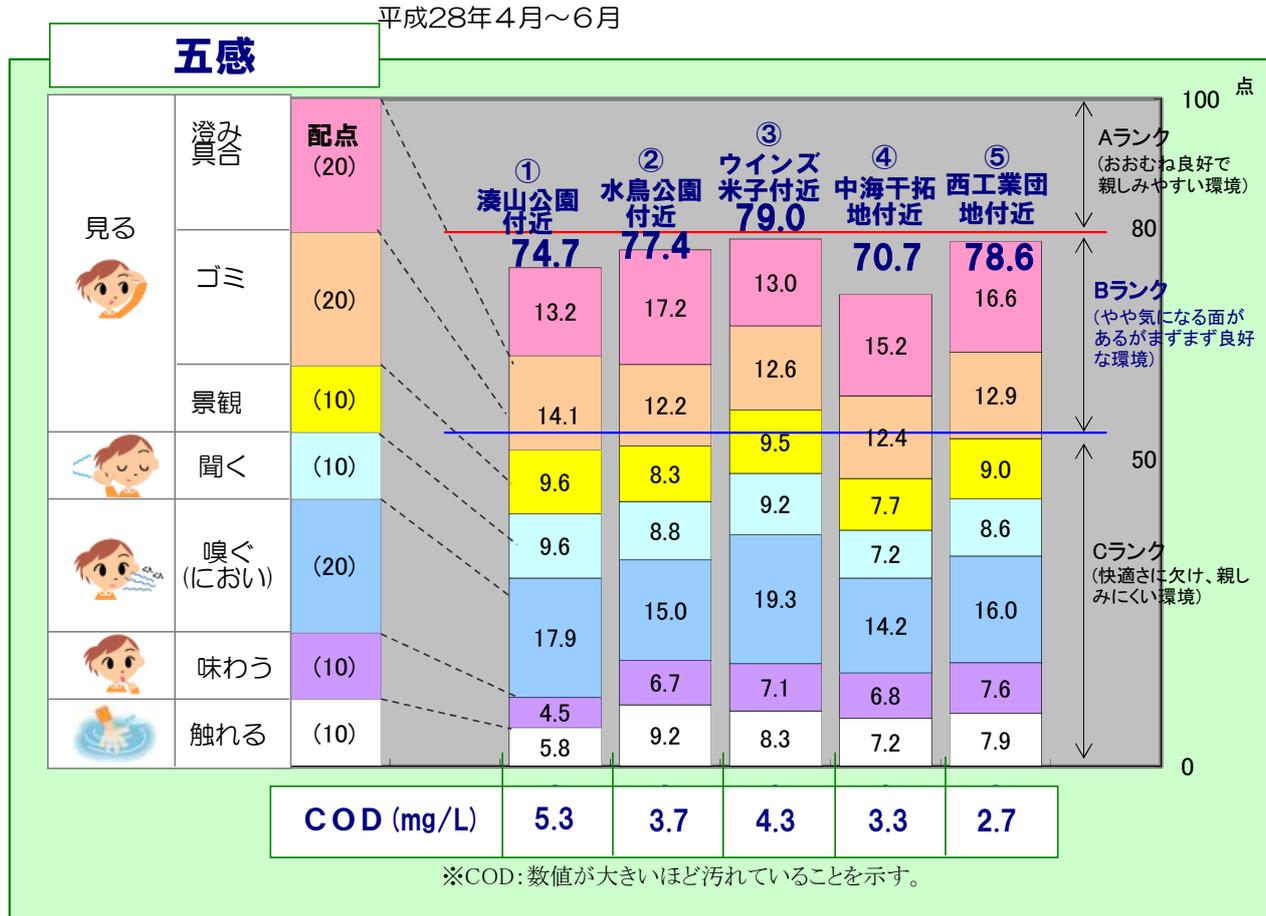


# 中海湖沼環境モニター通信

平成28年7月

## 第9期モニター中間集計 (第3四半期:平成28年4月~6月)

いつも御協力いただき、ありがとうございます。調査のときは熱中症にお気をつけください。第3四半期の結果を集計しましたのでお知らせします。



- 合計点は、5カ所すべてでBランクだった。  
(最高点:③ウィンズ米子付近 79.0点、最低点:④中海干拓地 70.7点)
- 「澄み具合」は、第2四半期(1~3月)と比べ、すべての地点で良くなっていた。
- 全体的に、第2四半期と比べ、良くなっていた。
- CODは第2四半期と比べ、全体的に高くなっていた。

### モニター感想・気づいたこと (ほんの一部です)

(※)提供いただいた写真は中海湖沼環境モニターのホームページに掲載しています。

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=71255>

- ① 湊山公園付近
- 【4月】・黄砂で空がかすんでいた。
    - ・水面は穏やかで色も深い青色をしていた。水鳥が激減していた。
    - ・桜が満開で花見見物を楽しもうと多くの人出で賑わっていた。
    - ・城山からは鳥のさえずりが聞こえ、春らしい日だった。
  - 【5月】・風少々、波あり。水鳥一羽もなし。淋しい。気温が上がり、水面少し緑がかっている。
  - 【6月】・岸辺側は深緑色で遠くの方は青色をしていた。久々にきれいな青をみた。
    - ・水位が高く、岸辺の岩が隠れている所が多かった。湖面に太陽が反射して眩しかった。
    - ・遠くに見える島根半島は、いつもながら淡い色で美しかった。
    - ・魚を探したが、護岸から見えなかった。
- ・一斉清掃後だったこともありゴミがなくきれいだった。

② 水鳥公園付近	<p>【4月】・<u>朝6時30分、空気も澄み、水も透明感があった。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水面にもやが薄く立ち、心和む風景であった。</li> <li>・キンクロハジロとオオバンが30羽くらい休んでいた。カイツブリが1羽いた。</li> </ul> <p>【5月】・中海水面の水鳥がいなくなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水は澄み空気はさわやかで、ヒバリの声が響き渡っていた。</li> <li>・湖岸は気持ちよく、水は透明できれいだった。</li> </ul> <p>【6月】・風は心地良く、水の透明度は高かったが、ゴミが湖岸に流れ着いていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水鳥は公園内に若干いるくらいで中海には見られない。オオヨシキリ、ヒバリ、キジの声が聞こえた。フナムシが活発に活動していた。</li> </ul>	
③ ウインズ米子付近	<p>【4月】・風がさわやかでカモが20~30羽ゆったりとしていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大山が久しぶりに見えた。</li> <li>・水は少し濁って見えたが水中の緑と茶色の藻はよく見えた。</li> <li>・垣根の松の芽が10cmくらい伸び花粉が飛びそうだった。</li> </ul> <p>【5月】・枕木山の太陽の日差しが湖面を錦色となり絶景だった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>湖水は珍しくかなり沖合まで澄んでいた。湖底の白い砂地がきれいに見えた。</u></li> <li>・<u>細長い数センチの稚魚が20~30匹群れをなしてきれいな水面を泳いでいた。</u></li> <li>・ヒバリが春を満喫し、喜んでいるかのように上空でうるさいほど鳴いていた。</li> </ul> <p>【6月】・離岸堤にカワウが10羽日光浴をしていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>湖水は澄んでいて砂地の湖底がかなり先まで見えた。</u></li> <li>・クラゲが一匹遊泳していた。</li> </ul>	
④ 中海干拓地付近	<p>【4月】・心地よい風景であるが、護岸に多少のごみがあった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウグイスの鳴き声とトラックの音が好対照だった。</li> <li>・コノシロが湖岸に漂着していて、臭気があった。</li> <li>・海藻が多く、湖水も前回より透明度が落ちていた。晴れていたが黄砂の影響で見通しは悪かった。東風で湖面は穏やかで澄んでいた。</li> </ul> <p>【5月】・ゴミの量にあまり変化はなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>風があったからなのか今日は臭くなかった。</u></li> <li>・強風のためか、湖岸上部に打ち上げられた木片や葦等が散見されたが、湖水はいつもより透明度が増して、引き潮で海底の岩がきれいに見えた。</li> </ul> <p>【6月】・<u>満潮で弱い西風があった。数日前の瞬間的な雨と風のためか湖岸にゴミが多く打ち上げられていた。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・五感は100点満点だったのにCODの値が残念だった。水温が上がると有機物が発生して水質が悪くなるのか。</li> </ul>	 
⑤ 西工業団地付近	<p>【4月】・産卵のためチヌの遡上が始まり、釣り人が増えて来た。調査中にも35cmが二匹釣れた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先月よりゴミが増えている。</li> <li>・風もなく、カモが6羽優雅に泳いでいた。</li> <li>・藻がかなり繁殖していた。黄砂とPM2.5の影響で晴れなのにも関わらずかすんで、せっかくの景観が損なわれていた。</li> <li>・島根半島の若葉がきれいだった。波もなく2~3cmのクラゲが流れていた。</li> </ul> <p>【5月】・<u>この場所で確認できず絶滅したと思っていたアマモが、岸から5mほどのところに40cm位に育っているのが確認できたが、気温の上昇で種がつくまでに枯れてしまうのではと心配だ。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨上がりで水が濁っていると思ったが予想以上に澄み、その割にCODが高かった。</li> <li>・海の中を1センチくらいの無数の稚魚が泳いでいる。</li> </ul> <p>【6月】・梅雨の一時の晴れ間で島根半島の緑がきれいに感じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水面に広がっていたウミトラノオが枯れ始め葉先がちぎれて、水面下に残った根元の上に穴アオサが発生して来た。</li> <li>・水温の上昇とともに緑藻の穴アオサやシオグサ、スジアオノリ等が見られるようになった。</li> <li>・<u>ペットボトルや段ボールが散乱している。一斉清掃でキレイになっていたのにとても残念。</u></li> </ul>	

# 6月12日に「中海・宍道湖一斉清掃」が行われました

中海・宍道湖一斉清掃は、中海と宍道湖がラムサール条約湿地に登録されたのを記念して、平成18年から毎年6月に実施されており、今年で11回目になりました。

これまで大量のゴミが回収され、中海とその周辺環境保全につながっています。

今年は、6月12日(日)に好天のなか鳥取・島根両県の沿岸5市で行われ、早朝から多くの皆さんに御協力いただきました。

米子会場(湊山公園)では、1,184人が参加し、6.9トンのゴミを回収し、また、境港会場(西工業団地)では、235人が参加し、0.41トンのゴミを回収しました。



メイン会場の米子会場(湊山公園)には、平井知事、溝口知事も参加しました。



湖岸に流れ着いた大量のゴミやヨシ、流木を回収しました。



企業、地域、学校、沢山の団体に御協力いただきました。

## 中海・宍道湖とトゥギャザーしようぜ！ ラムサールシンポジウム 2016 中海・宍道湖セッション

中海・宍道湖が鳥取・島根両県のみならず、日本、そして世界にとってかけがえのない財産であることを再認識するため、ルー大柴さんをお招きし、「ラムサールシンポジウム 2016-中海・宍道湖セッション-」を開催します。

ルー大柴さんは、富士登山での清掃活動を実施していることや水辺の生物が好きなことなど、自然環境に関わりが深いことから環境省の生物多様性リーダーにも任命されていました。

このシンポジウムでは、自然大好きなルー大柴さんに自然について語っていただくトークショーのほか、中海の環境保全について活動する団体の事例発表が行われます。

中海や自然の環境保全に熱い思いをお持ちの皆さんのお話をとお楽しみください。

日時：8月28日（日）午前9時30分から12時45分まで

場所：米子全日空ホテル（米子市久米町53-2）

入場は無料ですが、申込みが必要です。（申込期限：8月15日）

くわしくは、同封のチラシをご覧ください。



## 8月20日「中海体験クルージング&中海環境フェア」開催

恒例となっています「第15回中海体験クルージング・中海環境フェア」が、8月20日（土）に米子市旗ヶ崎の米子食品会館で開催されます。

このイベントは、住民のみなさんが中海の現状を知り関心を持ってもらうことを目的に、はくちょう号やヨットでのクルージングの他、環境保全に取り組む企業や団体・個人が環境に関するブースを設置し、展示や工作をとおして御家族で中海の環境を楽しく学べる催しとなっています。

ぜひ、会場にお越しください。

また、NPO 法人中海再生プロジェクトでは、中海ポスター・中海環境標語コンクールの作品を募集しています。（8月1日（月）締め切り）応募作品は中海環境フェアで展示されます。たくさんの方のご応募をお待ちしています。

くわしくは、同封のチラシをご覧ください。

**（担当）鳥取県西部総合事務所 生活環境局  
環境・循環推進課 環境衛生担当**



はくちょう号



昨年の様子